

うるあい

第78号

発行

八尾市自治振興委員会
八尾市赤十字奉仕団八尾市本町1-1-1
八尾市役所コミュニティ政策推進課内
電話072-924-3827(直通)

町会未加入の皆様へ、町会に加入しましょう！



町会に入るメリットとは？

ご近所とのつながりで
孤立や孤独になりにくい

子どもから大人まで世代を超えた交流活動を行うことで様々な顔見知りの関係が生まれ、支えあいの意識が高まり、孤立や孤独になりにくくなります！

ひとりで解決できないことを
みんなで解決できる

ひとりの声では届きにくいことも、町会単位で声を挙げることで行政に届きやすくなります！

地域の様々な情報が
自動的に入手できる

紙やデジタルの回覧板などで、お住まいの地域のイベントや生活にかかわる情報など重要な情報が手に入りやすい！

ひとりではできない
防災・防犯対策ができる

災害時の安否確認体制の構築、被災後の集団生活の予行演習などのひとりではできない組織単位での災害対策を行うことができます！



この機会にぜひ町会へご加入を！

ひとりではできない 防災・防犯対策ができる！

町会組織だからできる！自主防災活動

南高安地区 黒岡 正男

いつ災害が襲ってくるかもしれません。他の地域で発生している災害はいつ自分の地域で発生してもおかしくはない状況下にあると感じています。皆様も防災に関心をもちましょう。

南海トラフ地震、大型台風、線状降水帯の発生等、昨今日本列島で多くの自然災害が発生しています。メディアの報道で各地・各地区において災害訓練を実施している報道を目にすることが多々あるかと思います。

南高安地区では町会組織が運営に関わっている自主防災会があり、防災部会が存在します。毎年防災に関しての啓発活動および防災訓練が行われています。また、その組織のリーダーは八尾市消防本部主催の防災

リーダーの研修会に参加し防災の意識を高めるようにしています。このような防災活動はひとりで行うことはできません。

災害時には常時・非常時・備蓄品等の必要品を備え、乾電池・食料品等ローリングストック方法による備蓄品の確保を行うよう努めています。皆様が訓練を通じて災害の認識をより一層高め、地域・地区の防災活動が安心・安全を築き上げられることを心から願います。

今年度は八尾市危機管理課と協働して小学校の体育館にて防災訓練を実施する予定です。訓練の内容は避難所開設の手順を行います。実際に小学校の体育館を使って八尾市危機管理課・消防署の皆様方のご指導により実際の事態を想定した訓練を行います。

近年の自然災害は大規模なものが想定されますので日常の生活の中で常に災害の意識を高めておくようにしましょう。

ひとりで解決できないことをみんなで解決できる！

町会の想いを市に伝える市政懇談会を令和6年12月17日実施しました。



意見交換会のテーマ

「防犯灯について」

22地区30人の幹事が出席され、各地区の代表より、「LED防犯灯への交換支援について」、「防犯灯電気料金等補助金について」、「特別防犯灯について」の課題を市に伝え、今後の方向性について意見交換を行いました。各地区より、防犯活動に真剣に取り組む姿勢を感じました。



町会に入つて 良かった!!

エピソード 1

「子ども会」の活動に携わって

久宝寺地区 沼口 洋子



私が所属する久宝寺地区の「真砂子ども会」は、幼児と小学生・保護者で活動しており、季節ごとのイベントを中心とした活動を行っています。

春には、桜橋公園を中心に開催される「長瀬川さくら祭」での「ぜんざいとあべかわ」の接待のお手伝いをし、町会・真砂クラブ（シニアクラブ）と協力して行っています。

夏には、許麻神社の「夏祭り」があり、高学年の子ども達が子ども用の「布団太鼓」に乗り、暑いなか許麻神社で練習した成果を発揮し、力強く太鼓を叩きました。また低学年と幼児の元気な「わっしょい わっしょい」の掛け声が町会内に響き渡りました。

秋には、コロナ禍で直接お渡しする事ができなかった「敬老の日」にお渡しする、お祝いの「ハンカチ」を、今年は手渡しすることができ、高齢者の方々からは、

子ども達から「元気をもらった」と喜んでいただきました。

10月には、「子ども会」が中心となって行う「市民スポーツ祭」も開催され、今年は天気もよく多くの方々が見に来られ、沢山の声援を受け子どもも大人も力が入りました。

年末には、「火の用心」と拍子木を叩きながら、町会内の夜回りも行います。

いろんなイベントや活動を通して、地域の方々、保護者が協力し合いサポートする事によって、子ども達が安全に楽しく地域との絆を深めることができます。

今後も「子ども会」を通して地域に溶け込むことができ、子ども達も、かけがえのない体験と仲間ができる場所になるように心掛け、活動していきたいと思っています。

エピソード 2

子ども会での花火大会

用和地区



子ども会において毎年花火大会を行っています。このようなイベントがあることもあり、子ども達の入会も増え、保護者の方へ町会加入促進の声掛けも心がけています。

町会加入者が増えて、地域の活性化につながる様に子ども会活動も実施していこうと思っています。





八尾市民憲章

わたくしたち八尾市民は

1. 若い力をそだてましょう
1. あたたかい心でまじわりましょう
1. みどりのまちをつくりましょう
1. 文化財をたいせつにしましょう
1. 働くよろこびに生きましょう

やお安全安心憲章

1. 市民一人ひとりが防災・防犯意識を高めましょう。
1. ひとを思いやるやさしさをもち、
共に助け合う地域をつくりましょう。
1. 豊かな地域活動をはぐくみ、災害や
犯罪に強いまちづくりを進めましょう。
1. 未来を担う子どもたちを犯罪から守りましょう。
1. 社会のルールを守り、地域の和を尊重しましょう。

幹事研修会に参加して

八尾市自治振興委員会会長 福平 武

日 時：令和6年12月14日
場 所：人と防災未来センター
兵庫県神戸市脇浜海岸通り1-5-2
参加人数：15名

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、兵庫県南部を中心に発生し多くの人々が犠牲になったり、家を失ったりする悲劇を引き起こし、日本で最も被害が大きかった自然災害の一つとして知られていますが、年月が経ち忘れ去られようとしています。災害時に必要な対応として、迅速な情報伝達や避難計画の重要性、建物やインフラの耐震性向上などが挙げられおり、



当委員会でも各地区に対する情報伝達の発信に努力が必要です。

人と防災未来センターでは実際に地震を体験した語り部から、発災から5時間は市役所、警察、消防等と連絡が取れなかったこと、避難所での生活で、4～5日間は助け合おうが、その後は諍いが目立つようになったとの話を聞きました。平時より、近所付き合いなどを通じて絆がつながる組織づくりを行う必要性を感じました。

令和6年度赤十字活動資金及び災害支援金等のお礼とご報告について（令和6年12月19日時点）

寄せられた赤十字活動資金は日本赤十字社が行う地域福祉や災害救護、防災活動に役立てられます。

また、ご協力を頂いた支援金は日本赤十字社を通じて被害状況に応じて按分され、被災地に設置された支援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆様にお届けいたします。今後も日赤活動へのご理解とご協力をお願いします。

赤十字活動資金

6,102,620円

支援金、救援金

2,170,866円

(能登半島地震支援金・ウクライナ人道危機救援金等)

八尾市は、八尾市自治振興委員会と協働で、持続可能な町会組織としていくための検討を進めています。



みんなで **助け** **支え** **愛**

町会では、より住みよいまちとなるよう、自分たちでさまざまな活動に取り組んでいます。八尾市では、八尾市自治振興委員会と共に、町会を持続可能な組織としていくための取り組みを検討しています。今後も引き続き、八尾市は、町会のまちづくり活動を応援しています。



町会の負担を軽減するための市の取り組み

○八尾市自治振興委員会・町会への依頼事項見直し方針の策定
自治振興委員会・町会の負担軽減に向けた取り組みを推進するための方針を策定しました。これにより、市からの町会へ依頼する事項を削減し、町会本来の活動や行事へ注力いただける環境づくりを行っています。

○八尾市町会・自治会の運営活動のガイドライン

「お悩み解決ヒント集」の作成
自治振興委員へのアンケートや公募市民によるワークショップ等における意見を踏まえ、町会加入促進や運営・活動の見直しにつながるアイデアやヒントを取りまとめた資料を作成しました。

お悩みヒント集の
ダウンロードは
こちらから

【問合せ】八尾市役所 コミュニティ政策推進課 電話：072-924-3827 FAX：072-992-1021

編集委員の紹介

- 委員長：山中あや子（用和地区）
 ○副委員長：傍嶋 良享（久宝寺地区） 田中 秀宙（高安西地区）
 金武 正継（八尾第一地区） 笠谷知枝子（用和地区） 吉井 正博（大正北地区）
 早川 雪信（西郡地区） 浅井 孝男（南高安地区） 黒岡 正男（南高安地区）
 西尾 元秀（南高安地区） 竹本 弘子（赤十字奉仕団婦人部）